



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

1液型水系シリコン樹脂塗料

水系パーマシリコン

抜群の耐汚染性と長期耐久性

防かび、防藻性を強力に保持

環境に優しい水系タイプで高光沢

居住性を高める遮熱型もラインナップ

**ホルムアルデヒド放散等級は
規制対象外のF☆☆☆☆ (日塗工登録番号D01131)**



SINCE 1932

大同塗料株式会社
DAIDO CORPORATION®

1 液型水系シリコン樹脂塗料

水系パーマシリコン

▶ **抜群の耐汚染性と長期耐久性**

耐候形1種に相当し、美しい外観を長期にわたって保つことが出来ます。

▶ **居住性を高める遮熱型もラインナップ**

水系パーマシリコン遮熱型も用意しています。お求めの場合は「**遮熱型**」をご指定下さい。

▶ **防かび、防藻性を強力に保持**

▶ **ホルムアルデヒド放散等級は規制対象外の**

F☆☆☆☆ (日塗工登録番号D01131)

▶ **環境に優しい水系タイプで高光沢**

推奨用途

複層模様吹付材
(吹付タイル)の
トップコート

建築内部・外部
のモルタル、
コンクリート

金属屋根・
波形スレートの
トップコート



試験成績表

項目		結果		試験方法
		水系パーマシリコン	水系パーマシリコン 遮熱型	
1	乾燥時間	23℃	0.5時間	JIS K 5660 6.7
		5℃	2.5時間	
2	60度鏡面光沢度	70		JIS K 5660 6.10
3	耐水性	水に浸したとき異常がない		JIS K 5660 6.11 96時間浸漬
4	耐アルカリ性	アルカリに浸したとき異常がない		JIS K 5660 6.12 7日間浸漬
5	耐洗浄性	洗浄に耐える		JIS K 5660 6.13 1000回
6	耐湿潤温冷繰返し性	合格		JIS K 5660 6.14
7	屋外暴露耐候性	合格		JIS K 5660 6.16 12か月
8	耐候性試験B法	合格(耐候形1種)		JIS A 6909 7.19 2500時間
9	遮熱性(日射反射率)	-	55%(全波長域)	JIS K 5602 日塗工 N-6.0
		-	74%(近赤外域)	

※上記試験結果は実測値です。

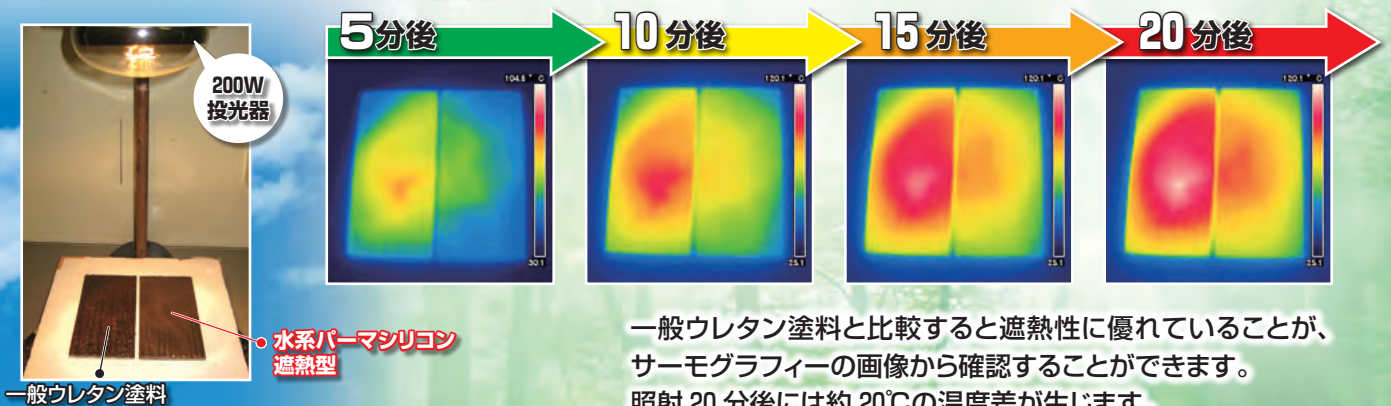
水系パーマシリコン 遮熱型

- ▶ 太陽熱を高反射させ熱吸収を抑制し、夏期の居住環境や冷房費を改善します。
- ▶ 塗膜は強靱で、耐候性、耐久性が特に優れています。
- ▶ 低汚染タイプです。
- ▶ 防かび・防藻性があります。
- ▶ 作業性が良く、はけ、ローラー、スプレーなどで簡単に塗装できます。

水系パーマシリコン遮熱型は、シリコン樹脂エマルジョンを使用した水性の光沢遮熱型機能性塗料です。水性 1 液タイプですから取扱いや塗装作業性が簡便な上に安全面にも優れています。

シリコン架橋による緻密で強靱な塗膜は、光沢の保持性、耐候性、耐久性に優れるばかりでなく、高度な遮熱性を付与しましたので、従来の塗料に比べて熱の吸収が少なく、壁面等の温度上昇を抑制して居住性を高めます。

水系パーマシリコン遮熱性テスト



塗付量

容量

つや調整

色

外壁改修(下地：防火サイディング)(2回塗り) 0.30~0.34kg/m²

15kg

3分つや有り 5分つや有り(水系パーマシリコン 白・淡彩色に限ります。)

水系パーマシリコン

各色(淡彩、中彩、濃彩)

水系パーマシリコン 遮熱型

淡彩色(色相によって遮熱性に差があります。)

※淡彩色の範囲：日本塗料工業会発行 塗料用標準色の明度区分が 80 以上のものに限りです。

例. 無彩色 DN-90、有彩色 D22-90C 〃が明度区分です。

※遮熱型は特殊な遮熱顔料を使用しているため膜厚が薄かったり、希釈しすぎると色目が変わります。注意して塗装して下さい。

水系パーマシリコン

① 外壁改修 塗装仕様書

下地：防火サイディング

旧塗膜：アクリル及びウレタン系塗膜(エナメル)

工程	品名	希釈剤 希釈率(質量%)	塗付量 (kg/m ²)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
素地調整	旧塗膜のふくれ、浮き、脆弱部分をディスクサンダー、ケレン棒、ワイヤーブラシ、皮スキ等で除去し、チョーキング粉、ほこり、ごみ等を高圧水洗(水圧80~120kgf/cm ²)で除去する。水洗後、十分乾燥させる。				
下塗	パーマカチオン	無希釈	0.10~0.12	はけ・ローラー	2時間以上
上塗(1回目)	水系パーマシリコン	清水 0~10	0.15~0.17	はけ・ローラー	4時間以上
上塗(2回目)	水系パーマシリコン	清水 0~10	0.15~0.17	はけ・ローラー	

② 外壁改修 塗装仕様書

下地：ALC

旧塗膜：リシン・複層タイル

工程	品名	希釈剤 希釈率(質量%)	塗付量 (kg/m ²)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●クラック巾が約0.3mm以上のわれについては、VまたはUカットし、底部にシーリング材を充填し、カチオンフィラー、セメントフィラーで補修する。 ●旧塗膜のふくれ、浮き、脆弱部分をディスクサンダー、ケレン棒、ワイヤーブラシ、皮スキ等で除去し、チョーキング粉、ほこり、ごみ等を高圧水洗(水圧80~120kgf/cm²)で除去する。水洗後、十分乾燥させる。 ●旧塗膜欠損部は適切な材料(弾性以外の複層仕上塗材のシーラー及び主材)で補修を行う。 				
下塗	レジコン微弾性フィラー	清水 0~5	0.8~1.0	マスチックローラー	5時間以上
上塗(1回目)	水系パーマシリコン	清水 0~10	0.15~0.17	はけ・ローラー	4時間以上
上塗(2回目)	水系パーマシリコン	清水 0~10	0.15~0.17	はけ・ローラー	

施工上の注意

- 開缶後は、よくかき混ぜてください。
- 素地調整は完全に行ってください。
- パーマカチオン**(容量15kg)はカチオン系の塗料ですので、他塗料と混合しないよう注意して下さい。はけ・ローラー等は、他塗料と混同して使用しないで下さい。
- パーマカチオン**の代わりに若干の不陸修正可能な、レジコン微弾性フィラーもご使用頂けます。
- 室内塗替時および塗装後は換気を十分に行ってください。
- 吸い込みの激しい面は、水の蒸発が早すぎて密着不良になりますので、吸込み止めシーラー(レジコンシーラーS、パーマカチオン等)を塗ってください。
- シーリング部に塗装すると粘着が残る恐れや割れが発生する場合がありますので、適切なシーラーで処置して下さい。
- 光沢のある面に塗装する場合には、サンドペーパーで表面を荒らして、塗装して下さい。
- 複層模様吹付材(吹付タイル)の仕上げ材(上塗)として使用する場合は、主材が十分乾燥してから、塗装して下さい。また旧塗膜が弾性塗膜の場合、塗装は避けて下さい。
- 鉄部へ塗装する場合は、錆止め塗料を予め塗装して下さい。カレートタンへ塗装する場合は塗付量は0.10kg/m²/回となります。
- 水系パーマシリコン、水系パーマシリコン遮熱型は、塗装時に風があると表面乾燥が速くなる傾向があります。
- 凍結させないよう、貯蔵して下さい。
- 次のような場合の塗装は避けて下さい。
 - 降雪雨時、又はその恐れのある時
 - 強風時や、ほこりがひどい時
 - 気温5℃以下、相対湿度85%以上の時
 - モルタルコンクリート素地のアルカリ度がpH9以上、または含水率5%以上の場合(ケット・デジタル式)
 - 被塗面が結露しているか、未乾燥中に結露する恐れのある時
 - 被塗物が異常に高温の時

SINCE 1932.

大同塗料株式会社
 ISO 9001 (滋賀工場)

本社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6288 FAX.06(6308)3618
 東京支店 〒135-0031 東京都江東区佐賀1丁目18番8号 TEL.03(3642)8431 FAX.03(3643)5560
 名古屋支店 〒452-0962 愛知県清須市春日流7番地1 TEL.052(409)8711 FAX.052(409)8716
 大阪支店 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
 福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎5丁目8番18号 TEL.092(641)2025 FAX.092(641)4022
 札幌営業所 〒061-3244 石狩市新港南3丁目704番地8 TEL.0133(76)6177 FAX.0133(76)6178
 千葉営業所 〒270-1403 千葉県白井市河原子木戸場364番地13 TEL.047(492)1901 FAX.047(492)1903
 神奈川営業所 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名2507番地10 TEL.042(764)4835 FAX.042(764)4836
 滋賀営業所 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地 TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964
 姫路営業所 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中5丁目12番22号 TEL.079(299)5959 FAX.079(299)5960
 広島営業所 〒733-0833 広島市西区商工センター4丁目5番15号 TEL.082(277)6464 FAX.082(277)6461

本社工場 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
 滋賀工場 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地 TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964

ホームページアドレス <https://www.daido-toryo.co.jp>



製品の規格及び仕様は改良等のため
予告なく変更する場合があります。

50-1160

'23.5.8版.1,000 HY